

提 案 概 要

浅生スポーツセンター

団体名： 戸畑スポーツコミュニティ共同事業体

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p>理 念：TOBATA de SPORTS with Partner～パートナーと共に創る豊かなスポーツライフ～</p> <p>基本方針：Partner と「続く」スポーツ、コミュニティ。</p> <p>基本方針を実現するためのアクションプラン</p> <p>動 ing：健康づくりから競技まで、幅広い世代がスポーツを始めたくなる、そして続けたくなる、参加意欲を刺激する場を提供する。</p> <p>学 ing：スポーツや健康、栄養等に関する学びの場を継続的に提供し、スポーツを「する」のみでなく「みる」「創る・支える」機会をつくる。</p> <p>美 ing：トレーナーが市民のパートナーとなり、エクササイズに加えて、老若男女を問わず心身共にいつまでも若々しさを持続できる体験を提供する。</p> <p>笑 ing：スポーツの楽しさにエンターテインメントの要素を加えた、地域が笑いでつながる持続的な関係となるための事業を実施する。</p> <p>人々：地域・医療・指導等の新しいパートナーと協働し、利用者に対するハートフルな施設利用を提供する。</p>
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)オリエンタルコンサルタンツの人的基盤は、北九州市内の公共施設の管理運営従事者が多数在籍していることから安定している。財政基盤は売上高・営業利益とも増加している。 ・第一警備保障(株)の人的基盤は、北九州市内に従業員が多数在籍していることから、安定している。財政基盤は安定しており、直近期では売上高・営業利益とも大きく増加している。
(3) 実績や経験など
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)オリエンタルコンサルタンツは、市内の浅生スポーツセンターや響灘緑地グリーンパークをはじめ、国内各所でスポーツ施設や公園等の指定管理者を務めている。 ・第一警備保障(株)は、浅生スポーツセンターや響灘緑地グリーンパーク、市営駐車場の指定管理実績をもつほか、市内を中心に施設警備、駐車場管理等の業務を年100件以上実施。 ・浅生スポーツセンターを開館当初より管理運営し、市のスポーツ振興に貢献してきた。今後は一層多様な連携を展開し利用者から愛され親しまれる施設にしていく。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに取組み明るく豊かな生活を送る市民を増やすため、利用者の多様なニーズに応える新たなチャレンジを続けることで、施設の設置目的の達成に貢献する。数値目標としては、利用者数30.5万人、利用者満足度95%以上、年間1つ以上の新規教室開講、地域連携企画数前年度比増、重大事故数ゼロの5つを設定し、それぞれ、目標値の実現を確実にするための管理運営方針を設定する。 ・市の政策を後押しする取組みを実施する。特にスポーツ振興計画の5つの政策に沿った取組みや、SDGsに係る活動を積極的に行います。 ・施設の利用者増に向けた既存教室等の魅力向上と、新たな利用者獲得に向けた新規教室の開講

<p>に取組み、より多くの市民にスポーツに親しんでもらえるように活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規教室やイベント等の実施にあたっては、様々な媒体を用いた効果的・効率的な情報発信を行うことで、設置目的の達成に貢献する。
<p>(2) 利用者の満足度</p>
<ul style="list-style-type: none"> これまでの利用者ニーズをふまえ、満足度向上のために人に投資し、トレーニング室での指導の充実や「運動型健康増進施設」への認定活動、スタッフの利用者対応能力向上、利用者への学習機会の提供、飲食物販サービスの充実等に取り組む。 利用者意見は多様な方法で収集し、対応フローに基づいて分類と優先順位付けを行ったうえで、優先度の高いものから順次対応する。 苦情には、未然防止・発生時対応・再発防止の3視点で対応する。 利用者への情報提供は正確・迅速に行い、自主モニタリングにて改善を図る。

<p>【効率性】に関する取組み</p>
<p>(1) 指定管理料及び収入</p>
<ul style="list-style-type: none"> 約3年間の浅生スポーツセンターの指定管理で培ったノウハウ・知識を活かし、サービスの更なる向上と安全・安心を確保したうえでのコスト削減を実現します。 使用料収入については、未使用時間の減少と魅力ある自主事業の展開により、サービス向上と認知度向上を実現し、使用料収入増につなげます。使用料は条例通りとし、値上げ等については利用者に丁寧に説明します。
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p>
<ul style="list-style-type: none"> 収支計画は過去約3年間の実績をもとに算出し、コスト削減と自主事業の積極展開による効率的な管理運営を基本に、妥当性・実現性の高い積算をしている。 再委託については、自社施工を基本とするため、専門作業・特殊作業のみ、市内業者を優先して委託する。

<p>【適正性】に関する取組み</p>
<p>(1) 管理運営体制など</p>
<ul style="list-style-type: none"> 浅生スポーツセンターの管理運営を熟知した人員による体制を構築し、これまでの知識・体験を活かしたよりよい施設管理を行う。 人員は、経験者や有資格者によるプールの安全管理体制と、接遇やユニバーサルマナー対応のできる受付窓口のサービス向上を重視して配置する。 スタッフの資質・能力向上を図るため、基本研修・専門研修を定期的実施するとともに、施設特性をふまえた関連資格の取得を促進する。 地域住民・団体との連携協働により事業を展開し、施設価値を向上する。
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p>
<ul style="list-style-type: none"> 個人情報、厳重な管理と適切な取扱い方法、定期的な見直し、保護体制の強化を行い、利用者により安心して利用頂ける施設にする。 子どもや高齢者、障害者、外国人、団体・個人など多様な利用者の平等利用を実現し、市民へのスポーツ普及を促進する。 利用者の安全・安心を第一に、事故を防止する安全対策と緊急時の速やかな対応のためのリスクマネジメントを実行する。 機械警備に加えた人的警備により安全を確保するとともに、日常からの訓練により災害への備えを万全にする。

提案額（千円）

令和2年度	95,500千円
令和3年度	95,500千円
令和4年度	95,500千円
令和5年度	95,500千円
令和6年度	95,500千円